

あやがわ 議会だより



綾川町成人式（平成22年1月3日）綾南農村環境改善センター

2010
No. 15
平成22年1月22日

新年のごあいさつ	2P
定例会のあらまし	3P
委員会報告	4～6P
一般質問に6人が登壇	6～9P
決算審査特別委員会報告	10～11P
傍聴記	12P

発行 綾川町議会 〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地
TEL 087-876-0733 FAX 087-876-3660

議会だよりは綾川町ホームページから見るができます

新年のごあいさつ



綾川町議会 議長 村瀬 秀 則



厚く御礼申し上げます。

わが国の現状は、少子高齢化・社会保障制度への不安・環境問題をはじめ、物資高騰・金融・雇用情勢の悪化など生活に及ぼす影響が忍び寄り、日本経済全般にして不安定感が増しているように思えます。

これらの状況下の中、町民各位のご協力を得て健全に町政運営が遂行されておりますこと、この場をお借りいたし、深く御礼を申し上げます。

本年は、残されております諸施策はもとより、ハード・ソフト両面からの社会福祉向上に向けて、日々前進全力で議会として邁進いたしますこと議員一同お誓い申し上げます。

本年も、町民皆様方の期待とご協力を真摯に受け止め、住んで安心で幸せな生活が営める、寅年にふさわしい力強い町づくりを目指して参ります。

町民の皆様にとりまして素晴らしい年として、ご健康で幸多きことを祈念いたしまして年頭のご挨拶いたします。

謹んで新年のおよろこびを申し上げます

綾川町議会

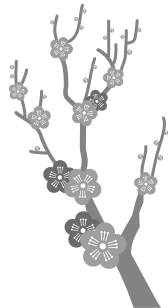
議長 村瀬 秀 則
副議長 河野 雅 廣
議員 大谷 照 美
議員 宮本 勝 利
議員 安藤 利 光
議員 石井 和 義
議員 野中 邦 夫
議員 福家 良 治
議員 長尾 進
議員 香川 秀 行
議員 笹川 定 義
議員 碓石 眞 己
議員 造田 節 夫
議員 鈴木 義 明
議員 田辺 健 次
議員 中西 一 幸
議員 山亀 英 信
議員 松浦 正 昭

臨時会 11月

11月27日に臨時議会を開催し、国の人事院勧告（8月11日）に伴う、「綾川町議会議員の議員報酬改正」「綾川町職員の給与に関する条例改正」「綾川町長及び副町長の給与改正」「綾川町水道企業職員の給与改正」など提案された4議案を賛成多数で可決し閉会した。

主な内容は、町議会議員の期末手当を年間0・25カ月カットして3・05カ月分とした。町長と副町長も同様に0・25カ月カットして3・05カ月分に減額した。

一般職は給料月額を平均0・24%引き下げ、ボーナスも年間0・35カ月分引き下げ年間4・14カ月分となった。



議員表彰

議員在職19年以上の地方自治功労により、2名が表彰されました。

◆四国地区町村議会議長会表彰

（議員在職19年以上）



石井和義 議員
野中邦夫 議員

◆全国町村議会

議長会創立60周年記念特別表彰

（議員在職30年以上）



大谷照美 議員
宮本勝利 議員
安藤利光 議員

12月 定例会

有事の関連情報・地震速報等に 全国瞬時警報システムを設置

12月定例会は14日から18日までの5日間の会期で開催した。

開会初日は町長から、「綾川町後期高齢者医療に関する条例の一部改正」「瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定」「21年度一般会計補正予

算・特別会計補正予算」など議案15件、諮問1件、報告1件の提案理由を説明、議案は各常任委員会に付託した。

一般質問には6議員が登壇し、「少人数学級への取り組み」「新築市との交流のあり方」などの問題について執行部の考えをたがした。

付託された議案は、15

・16・17日に各常任委員会を開催し審議した。(付託議案審議の主な内容は4～6ページに掲載)

会期最終日の18日には本会議を再開。付託された議案15件の審議内容を各常任委員長が報告するとともに、9月議会で継続審査になっていた「20年度綾川町一般会計及び特別会計の決算認定」について、11月に開催した決算特別委員会の審議内

12月定例会

容を委員長が報告した。

採決の結果、「瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定」の議案、および「20年度決算認定」は1名を除く賛成多数で可決。他の14議案、および諮問案は、全議員異議なく原案通り可決承認した。

この後、「綾川町議会委員会条例の一部改正案」が提案された。

内容は、次期町議会議員選挙から議員定数2人削減になることから、厚生および建設経済常任委員会の委員定数を1人ずつ削減しそれぞれ5人とするもので全議員異議なく可決し、定例会を閉会した。

成立した主な議案

◎後期高齢者医療に 関する条例の改正

保険料の延滞金を納期限から一定期間、利率を

軽減する改正。

◎県費補助土地改良事業

前池地区ほか13件の土地改良事業実施に伴う、知事協議の事前承認。

◎字の区域の変更

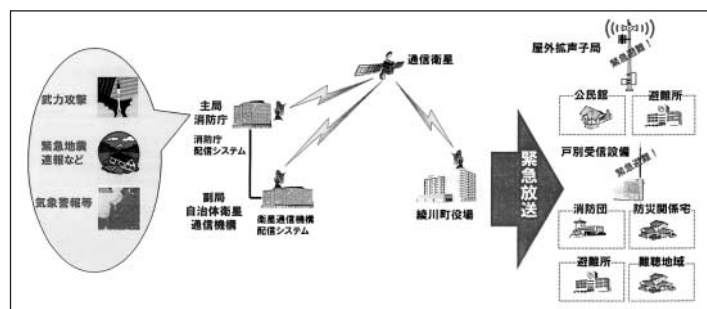
山田地区第3工区および綾南南部地区第1工区の県営基盤整備事業実施に伴い、従来の字界を整備後の区画された形に字の境界を変更するもの。

◎一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ608万8000円を追加し、87億9723万5000円とした。

歳入の主なものは地方交付税、前年度繰越金、県支出金など。

歳出の主なものは、商工費のうどん会館浄化槽修繕工事費、消防費の全国瞬時警報システム設置工事費、衛生費の新型インフルエンザワクチン接種費用減免分費、教育費の昭和公民館駐車場舗装



全国瞬時警報システム(J-ALERTシステムの概要)

◎広域定住自立圏協定

瀬戸・高松広域定住自立圏協定書は、高松市および周辺5町(小豆島、土庄、直島、三木、綾川)が、定住に必要な都市機能や生活機能を確保し、中枢機能の強化と圏域内への人の流れを創出することを目的に強力に連携を図ろうとする内容。

の基金積み立てなど。陶病院会計では、透析室モニターカメラ、および訪問診療用車両購入費など。

人権擁護委員の 推薦同意

平成22年3月31日の任期満了に伴い、同委員の推薦に同意した。

矢島 キミ子氏 (65歳)

綾川町羽床下594番地

再任



学校再編で答申

11月30日に綾川町立学校等の再編整備検討委員会（委員長・山神眞一）より町長に答申書が提出された。

答 答申を尊重し、事業の進捗を図りたい。

内容については、広報に掲載し、各種会合でも周知に努めたい。

町では、答申を尊重したうえで、「教育の町宣言」にふさわしい中期的な展望にたった教育環境の創出について、具体的な施策の取り組みを進めるとともに、広く町民の理解と協力が得られるよう努めたいとの報告があった。

要望 中学校の整備は当初の計画より2年程度遅れており、速やかに対応を図ることを要望する。

問 教育委員会としてのビジョンを示し、その内容を町民各層に周知する必要があるのではないか。

要望 中学校の整備は当初の計画より2年程度遅れており、速やかに対応を図ることを要望する。

また、綾上中学校は構造耐震指標ⅠS値が0.3以下であり、耐震補強でなく、改築しなければと思うが、その考えは。

全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入

改築した場合、生徒数に見合った規模とし、過疎債を活用してはどうか。

全国瞬時警報システム（J-ALERT）とは、地域衛星通信ネットワークを利用して、内閣官房からの有事関連情報や気象庁からの緊急地震速報・津波警報等を、総務省消防庁を通じて全国の自治

体等へ瞬時に送信するシステム。

綾川町でも、このシステムを導入し、各家庭の防災無線を通じて、気象情報、緊急地震速報をお知らせし、町民皆さんの安心、安全に寄与するもの。このシステムに係る費用は1200万円。

昭和公民館の 駐車場を整備

昨年度造成した昭和公民館の駐車場の舗装工事を行なう。

完了は2月中旬の予定。今回の補正額は800万円。

全国合唱コンクール 綾南中学校が出場

合唱部の伝統校であり、県内外でのコンクール大会で優秀な成績を収めている綾南中学校の合唱部が全国大会に出場した。大会は62回を数え、全国から22校が出場し、綾南中学校の熱唱に大きな声援が送られ、練習の成

果を発表した。補正額は200万円。



綾南中学校合唱部全国大会出場

定住自立圏をめざし 高松市と協定

この協定は、高松市を

中心とした「瀬戸・高松広域定住自立圏」を目指すもの。

共同で行なう事業内容は、現在行なっている介護認定審査会の福祉関係、ごみの共同処理、消防委託などのほか、医療、観光、文化芸術、公共交通など多様な連携事業が含まれている。

協定の調印は22年1月、実施する事業の策定は、22年3月の予定。

給付済み世帯は99.4%

定額給付金

4月から開始の「定額給付金」の最終実績が報告

告された。

報告によると、給付済み世帯は9260戸、金額は4億55万2000円で給付済み世帯数では、99.4%。

給付率は県内2位となっている。

新型インフルエンザ に対応、就学前及び 小学生に接種

新型インフルエンザに対応する集団接種を就学前児童と、小学生を対象として現在（12月）実施中であり、中学生については、新年以降に個別接種を予定している。

厚生委員会

12/16

小規模居宅介護施設を整備

町社会福祉協議会

町社協から提案されていた同介護施設整備は、予定地の旧羽床上小学の耐震診断を終えたことから、平成22年度で耐震

工事を施すとともに、同介護施設に改造した後、社協に貸与したい旨の提案があった。

この事業は、町内を対

象区域として、要介護者及び要支援者の心身の特性や能力に応じ、自立した日常生活を営めるよう、入浴、排せつ、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を行うもの。事業内容は、通いサービス、宿泊サービス、訪問サービスを行う。



小規模多機能型居宅施設整備予定の旧羽床上小学校

問 補正予算に計上した

答 給付メニューは国の基準に基づいて実施している。家族による家庭内介護に対する補助制度は、平成22年度の予算作成時に検討する。

問 社協の理事・評議員会では、この事業説明が十分されていない。

答 町が整備したのち社協が施設運営する際、町からの財政援助なく自主運営できる根拠説明が必要でないか。

答 12月25日に社協の理事・評議員会を予定している。十分理解できる説明をするよう協議する。

問 介護は国の基準で実施

答 介護保険事業の給付メニューは多いのでは。また、介護保険に頼らず、家庭で家族が介護している場合、町独自の支援制度を検討しては。

答 町民税非課税世帯の減免対象者は2282人。この費用総額の80%を見込んでいて、所要額の75%は県から予防接種補助金を受け入れる。

問 安価な葬祭場を

答 町内の葬儀・告別式会場の実態は、4割弱が自宅で、それ以外が民間の葬祭場を利用している。

答 火葬場改築にあたっては葬祭場施設の整備も検討したが、年間稼働率、運営費用、また民間業者などのことも

建設経済委員会

12/17

綾上中区配水池の今後は



建設中の綾上中区配水池



2009年12月20日に運用を開始した「やすらぎの丘」

問 新しく字界変更を実施するのはどこか。

答 平成8年度から基盤整備事業を進めてきた、綾南南部地区第1工区(陶地区)と、平成12年度より基盤整備事業を行ってきた山田地区第3工区である。従来の字界が原形をとどめなくなっただため、新しく字界を定めるもの。

府中湖スマートインター

問 平成20年3月から社

問 中学生が職場体験で看護師業務の体験をして

答 中学生や高校生、香川大学医学部学生、自治医科大学学生など積極的に受け入れていく方針である。

要望 本町の中学生、高校生で医学部を志し、ふるさとで医療に貢献しようとする者を対象とした奨学金制度の創設を求めたい。

問 20年度から進めている町道西浦線の進捗状況は。

答 20・21年度で、用地購入などをし、工事は順

町道西浦線

問 20年度から進めている町道西浦線の進捗状況は。

答 20・21年度で、用地購入などをし、工事は順

問 新しく字界変更を実施するのはどこか。

答 平成8年度から基盤整備事業を進めてきた、綾南南部地区第1工区(陶地区)と、平成12年度より基盤整備事業を行ってきた山田地区第3工区である。従来の字界が原形をとどめなくなっただため、新しく字界を定めるもの。

府中湖スマートインター

問 平成20年3月から社

調に進んでいる。23年度完成に向けて、国の動向を踏まえ対応したい。

(株)綾南プラザ

問 道の駅「滝宮」の目玉となるように、イチゴを前面に押し出した取り組みは。

また、メニューにも知恵を出して、売上げを増加するように。

答 目玉はうどんである。イチゴはイチゴ農園などと協議し、消費者の要望に答えるよう改善したい。今後収益が向上するよう知恵を出していきたい。

また、これから産直部門等において、施設整備を予定している。

浄化槽破損の原因は

問 うどん会館の浄化槽破損の原因は。土留め工事は施工しないのか。

答 現在まだ調査中。早急に解明し報告したい。

工事は、うどん会館前の新しい所に設置をする。現在、コンクリートを打

設しており、年内に配管工事をする。

また、FRP製の埋立工事は、通常、土留め工は施工しない。現地の土質は粘土層で安定している必要はないと考えている。

建設経済委員協議会

道の駅「うどん会館」合併処理浄化槽の修繕

道の駅にあるうどん会館の浄化槽が、11月に異常を示す警報が鳴ったため現場確認すると、浄化槽の周辺が陥没していた。現在安全策を実施。

この浄化槽は、平成9年2月に完成したもので、うどん会館に関する全ての汚水进行处理している。

また、接触ばつき方式による250人槽で3つの層に分かれており、今回の破損は、この層の流入調整部分である。

現在、ポンプ2台の内1台機能していないので、残り1台で対応しており、新しい槽を設ける必要が

FRP製とは、繊維と樹脂を用いてプラスチックを補強することにより、強度を著しく向上させた複合材料。

委員会終了後、うどん会館の浄化槽破損状態を確認するため現地踏査をした。(左面に関連記事)

あるために、年内早々に着手したいと報告があった。

なお、保障期限は、工事に係る瑕疵担保による場合は、引渡しから2年。施工者の故意、重大な過失による時は、引渡し後10年となっている。

今回の原因は、土質が粘土質なので陥没は考えられず、材質もFRPは腐らないと聞いており、しかも、地中に埋設し、条件はよいと考えられる。今後原因を十分究明していくことになった。



修理中の浄化槽

安藤 利光 議員

Q

学校の統廃合推進をやめよ

A

答申書をもとに進めたい

問 県が学校の規模について指針を出している。小・中学校では1学年2学級以上としているが、統廃合することのメリット・デメリットを総合的に検討して学校規模を考へることや、廃校により学校の教育費が減少になることなどは書かれてい

ない。

現場教員のアンケートでは、不登校・いじめなどは、学校規模の拡大と共に増えている。一人ひとりに行き届いた学習ができる、少人数学級を町は進めるべきでは。

教育長

小規模校には、コミュニケーション能力の育成などを養つ面で課題があり、中学校では、



綾上中学校

問 政府税制調査会は、扶養控除廃止を打ち出している。実施されると町への影響は。

町長 法改正がされれば、町で扶養控除人数3339人が該当し、多額の税負担となる。負担がないよう全国町村会を通し働きかけた。



部活動の種目制限等も課題が生じる。しかし、学校統廃合は、通学距離の問題なども課題となってくる。

教育委員会は、答申書をもとに地域の実情も踏まえて進めたい。

Q

扶養控除廃止の影響は

A

町では1億1000万円の税負担に

大谷 照美 議員

若者が集う町に

80歳は、まだまだ若者である

問 私は、来年80歳になる。私のような後期高齢者ががんばっている若者が進出できない。だから私は、引退を決意している。

判しているが、町内100歳以上の方は何人もいらっしやる時代であり、80歳はまだまだ若者であると思う。

町長、あなたは80歳になられている。このような後期高齢者が町の指導者であれば、若者向けの町政ができない。全て長という名がつくものを持たなければ納得できない。すなわち独裁町政になっ

老人を大切にして、これから20年も頑張らないといけない事を考えるとき、一層仕事に元気で専念してこそ、この町を守れると思う。

町長を務めたら、この町は死の町と化するだろう。住民による住民のための住民の町づくりを今こそ進めるために、町長は勇断を持って引退すべきだ。

町長 私の80歳代で政治のポストにあることを批

町政運営も住民の各層各界100人委員会の大衆の意志、住民の意志を尊重してこそ、住民のための住民による政



「コミュニティカレッジ綾川」より 11月21日綾南農村環境改善センター

治ではありませんか。後進に道をゆずることも大切である。その時期は、いつが良いかは私が判断する。

「人間を大切にする政治」、社会は住民本意のもので住民のための政治・民主主義を守り、町民のご理解を得られるよう、努力する。

田辺 健次 議員

幼稚園の設置・充実とは

幼稚園・保育所の統合一元化

問 滝宮保育所の中に幼稚園があった。しかし現在は一時休園となり、粉所幼稚園1カ所しかなく、「綾川町子どもを守る会」の住民は困っている。そのため、高い費用のかかる私立幼稚園（高松）へ仕方なく通園させている。公立幼稚園があれば通園させたい。一貫した就学前教育をさせてやりたいなど、各家庭それぞれにニーズの違いがあり、適した保育所・幼稚園を

選択できるよう今後、旧綾南町内においても幼稚園の設置計画をしていたきたい。

旧綾上町内の幼保一元化を検討することとなっているが、現在の粉所幼稚園はどのようになるのか。

町長 保育所・幼稚園の連携を図るために、幼児教育指導員を配置して様々な問題に対応している。就学前の教育については幼・保主任会等を通じて連携を図っている。



粉所幼稚園

保育所においては特別保育メニューが増加し、現状では対処出来ない状況下にある。

学校等再編整備検討委員会において、「昭和北と南保育所を平成24年度までに統合」「粉所幼稚園・西分保育所・羽床上保育所を山田保育所へ24年度までに段階的に統合」とする答申があり、保育所において幼児教育を行い、新年度より幼保一元化の推進を図る。

A Q

初代町長としての行政評価は 安全・安心な町づくりを推進

問 綾川町が発足して間もなく4年が来る。初代町長として行政を推進してきた現在の気持ちを。

町長 住民福祉の向上と安全・安心な町づくりを基本理念に行政の推進を図ってきた。

図ってきた。

老人保健施設「あやがわ」の新設、火葬場の改築、小学校の耐震・大規模改修も本年度で全て完了した。住民が活用出来る生涯学習センター建設は設計段階にある。中学校の施設整備の遅れは、学校等再編整備検討委員会の答申を尊重し具体化を図りたい。

府中湖スマートインターの開設、大型小売店舗のイオンの立地コーナン商事も現在、工事が進行中であり、5カ年計画に沿った事業をしてきた。

建設中のコーナン商事

府中湖スマートインターの開設、大型小売店舗のイオンの立地コーナン商事も現在、工事が進行中であり、5カ年計画に沿った事業をしてきた。

Q 22年度の予算編成は住民のニーズを反映

問 政権交代により、町の新年度予算編成も頭を悩ませているのでは。新年度予算の重点施策は。

町長 政権交代により、これまで以上に一般財源の確保が難しくなる。22年度予算編成にあつては、国の動向に注視することはもちろん、健全財政の堅持を念頭に置き、限られた財源を効率的、効果的に活用するため、住民のニーズを的確に反映した事業に対し、集中的、重点的に予算の配分をしたい。

22年度の重点事業としては、生涯学習センターの建設、町内全域への光ファイバー敷設に向けた民間事業者の選定、二つの中学校の改築及び耐震化、羽床墓園の整備などである。

22年度の重点事業としては、生涯学習センターの建設、町内全域への光ファイバー敷設に向けた民間事業者の選定、二つの中学校の改築及び耐震化、羽床墓園の整備などである。

石井 和義 議員

Q 給食費は公会計に移行を
(教育長)
A 違法性無く現行通り実施
(会計管理者)
A 自治法に沿った処理すべき

本町は学校給食会が運営している。自治法の原則が示されているが、その会計処理は市町村に委ねられていて違法性は無いと認識している。

給食は全生徒に与えているし、給食費の未納額を町が補てんしたことはない。

会計管理者 合併時までは、旧両町ともに適法に処理されていたと判断できる。

問 現在の学校給食の実態からして事業主体はどこか。学校給食費は、より透明性の高い公会計への移行が望まれる。

現在、未納給食費を町が補てんしているか。また未納生徒の給食は、正當に納めた給食費をそれに充てていないか。

会計管理者は、地方自治法の総計予算主義の原則をどのように理解しているか。

教育長 学校給食の運営は県下各市町まで、

学校給食の運営は県下各市町まで、



学校給食共同調理場

を受けられることは、保護者のみならず全町民の願いだ。完成予定は。

教育長 一連の流れの中で中止した。談合は町に非があつたか、業者に非があつたのか分からないが、ここまで遅れたことは私に非があつたと理解し、責任は私にあると考えている。

再発防止対策は、本年3月23日、綾川町談合情報対応マニュアルの規程を定め、以後この訓令に則り対応している。

今後は、学校等再編整備検討委員会の答申を尊重するとともに、町民の理解と協力をもって計画を推進する。

長尾 進 議員

Q 新型インフルエンザ 学習支援対策

A 補修授業を予定

フルエンザの影響により、本町でも各校の実態に応じて、学級閉鎖・学年閉鎖を実施した。

町教育委員会としても、それに伴う授業時間の確保、児童生徒の学力の維持・向上を進めている。

すでに過当たりの授業時間数を増やし、朝の時間を活用して、教科の学習を行っている。さらに、終業式や始業式の日には授業

を行う予定の学校もある。

綾上・綾南中学校は、冬季休業中に補修授業を予定しており、児童生徒の学習支援対策に具体的に取り組んでいる。

まず、感染予防の指導に努めるとともに、学級閉鎖・学年閉鎖の状況が生ずる可能性もあるが、学習支援対策は、学力の維持・向上の面から積極的に取り組んでいきたい。

ほかにもこんな 質問がありました

退職手当の見直しを

問 現在、町長等には、1期を務めると県の退職手当組合から、辞める際に退職金が出る。町長で1000万円以上の支給割合になる。3年前、見直しをするようにと質問を行っているが、それ以降どうか。

答 特別職は、「給料月額×在職月数×支給率」で計算をする。

退職金額は、町長で1417万円、副町長623万円、教育長が424万円となる。

現在、県内の支給率は、全国と比べて低い位置にあり、引き下げするほどではないと考えている。

今後、適切な額となるように、関係市町と相談をする。

事業仕分けで国に要望を

問 事業仕分けは、軍事費などの大きい予算は対象

外とする一方で、医師

不足対策や子どもの読書活動の推進事業、子ども夢募金23億円が廃止された。また生活関連予算の削減も行われたが、町への影響は、また国に要望を。

答 事業仕分けにより、「予算要求額の編成」「年度見直し」とされたところでは、住民の生活に影響を及ぼすものもある。今後、全国町村会を通じて国に要望する。

改修工事支援制度

問 町内には共聴施設組合が多くあり、デジタル受信ができるように、行政支援が必要である。改修工事支援制度に町はどのように。

答 町にはNHKが設置した2つの共聴施設組合と11の自主共聴組合がある。

NHK共聴施設のうち「小野地区」は改修が完了している。

そして、この施設に接



冬休み中の陶「なかよし学級」風景

続受信している「平成」「宮地」「朽木」もデジタル放送の受信が可能となった。また「栗原地区」も近く改修が図られる予定。

また残り8組合は、内部で協議を行っている。

今後組合の協議結果をふまえ、国の制度やNHKの支援制度の活用ができるよう町も努力する。

さらに、23年度目標に整備する計画の光ケーブルによる高速情報通信網の活用も視野に入れて、デジタル放送受信ができるよう支援していく。

問 全国で100名を超す死者を出し、衰えを見せない新型インフルエンザは、本町でも猛威をふるっている。

そこで、学級閉鎖措置を実施した小中学校の児童・生徒に対する学習支援対策は、どのように考えているのか。

綾川町教育委員会として、他町に習うのではなく、未来ある子供達のために、本町独自の学習支援対策を。

教育長 今年度新型イン



待合室で診察を待つ患者（陶病院）

会計 決算を審査・認定

特別会計

歳入 74億7142万74円

歳出 71億8487万14円

12月定例会までの継続審査であった「平成20年度の決算審査特別委員会」を11月19日・20日・25日の3日間開催し、慎重に審査した結果、一般会計・特別会計・企業会計の決算をいずれも認定した。

総務関係

問 自治会組織への未加入者が多数あり、書類の個人送付に多額の費用が計上されているが、その未加入者を減らす解決策はないのか。

答 書類の発送に多額の費用が生じていることに関しては、宅配業者も存在することから費用面を考慮検討したい。インターネット上の町のホームページでも広報内容を公開している。

問 地域ボランティア団体育成補助金があり、綾上地区には補助をしているが綾南地区にない理由は何か。

答 公民館活動に対しての補助で、旧綾南には公民館運営協議会があり、その団体に補助金として交付をしている。



決算審査特別委員会

たが、現在、旧綾上にはその公民館運営協議会が結成されていないことから、このような名目で交付をしている。

問 育英資金返済の状況はどうなっているのか。

答 現在1名の滞納者がいて保証人とも連絡を取り返済いただけるよう対応している。

厚生関係

問 ごみの問題は町主体で取り組むのではなく住民総参加が望まれるところである。協力願う事が、意識の改革につながり、また予算の減額にもつながっていくのではないか。

答 横山クリーン作戦、綾川河川清掃、自治会単位で周辺の清掃もした。エアポートクリーン作戦に今回も参加する予定で、住民の意識向上のため取り組んでいる。環境問題に対し積極的な対策を検討していきたい。

問 4台あるゴミ収集車のうち、2台が予備車となっているが。

答 直営の運行台数が2台。2台の予備車の内1台は、富士クリーンに月8回の割合で運転手と助手による収集を委託している。もう1台は特殊車両のため、車検等の代車として保有している。

問 ごみの減量化に関して、生ごみ処理機などがあるが、他町の状況はどうなのか。

答 コンポスト、電動生ごみ処理機の補助を実施しているが、他市町の状況を見ると、電動生ごみ処理機対応に力を注いでいることから、補助拡大に向けた取組みを検討したい。

問 町外の方の火葬場使用が多いが、使用料は町外と町内でどのようになっているのか。また火葬場周辺の一部地域に対し迷惑料として公費の支払いをしているのはおかしい。

答 火葬料は町内4万円。国分寺地区は平成23年3月31日まで6万円。その他は8万円となっている。地域への懇談会を実施することは、当初からの案



ゴミ収集車

件で今後も実施していく。しかしその他の地域も今後対応したい。

問 墓園の管理委託に関し、鞍掛墓園のトイレの管理が出来ていない。他のところはどのようになっているのか。

答 町内に5カ所の墓園があるが、トイレがあるのは生子山と鞍掛のみであり、管理はシルバー人材センターに委託をしているものの、今後の管理体制について十分注意をする。

20年度 一般会計・特別

一般会計

歳入 92億2704万6000円

歳出 86億6082万3000円

建設経済関係

問 現在実施している下水道事業において、水

道事業において、水

道事業において、水

道事業において、水

答 収支は補助事業としての位置づけから、事業進捗あるいは人口動態との絡みで数字的に表すのは難しい。

問 下水道認可区域の見直しは。

答 変更認可の中で見直しを考えている。中讃流域下水道への負担金も相



下水道工事（十三塚）

当必要なことから、使用料を見直すことも考えなければ採算が取れないものと思う。

問 下水道への接続は3年以内にしなければなら

ないとなっているが、接

答 処理人口8591人に対し水洗化人口6577人で77・6%の方が接続を完了し、残り2割強の方が未接続である。

問 町道の草刈に制限があるようだが、町道改良工事として買収した

所は、年に1回は町側で草刈を実施したらど

答 町道の草刈に関しては、補助基準等に沿って対応していることから、今までどおり実施していきたい。維持工事に關する一式の内容は、費用的には小額な道路側溝の清掃、修

繕、あるいは法面の崩土除却などをまとめて実施したもの。

問 工事の発注は、一式

と言うのはおかしい。そ

答 緊急性のある個所に

対応したものである。それ以外は通常の方式により実施している。

問 遊休農地解消対策事業とは何か。また柏原溪

谷キャンプ村における臨時賃金が多いように思われるが。

答 遊休農地として認定するには、2年以上耕作していないこと。また所有者に耕作の意志がないこと。一般的な農家が所有している機械では復元

ができないとした農地を、3年以上にわたり借りて耕作した者に対し、反当り1万円の助成をしている。

柏原溪谷キャンプ村における臨時雇い賃金は、通常3人体制でしている



遊休農地解消対策事業での草刈り

が、繁忙期には2人から3人のアルバイトを雇用して対応している。

問 キャンプ場の施設は、

有意義なものであるとの認識はしているが、経営状況から見直しなど検討しては。

答 経営をまかなう指定管理者制度の確立が必要であるが、年間を通して施設利用が見込めないこ

と。また引き受け手が現れないこともあり、直営での運営を余儀なくされているので今後十分検討していきたい。

問 柏原溪谷キャンプ村の管理委託料84万円が計上されているが何か。

答 隣接する土地所有者に対し周辺を含む管理をお願いしている費用である。



熱心に傍聴する羽床小学校6年生

ぼくは12月14日（月）に綾川町議会の様子を見学しに行きました。会議場に入ると机が整然と並べられていて、テレビで見た国会のようだなあと思いました。話の内容は詳しくは分からなかったけれど、小学校の統廃合についての話し合いが行われていました。少ない人数の学校をなくすかどうかということについて話をしていました。



羽床小学校 6年
高尾 涼さん

羽床小学校は現在全校児童89人で、綾川町では一番小さい学校です。とはいえ、羽床小学校が好きなので、どんなに少ない人数になっても子どもがいるのならほかたちの学校をなくさないで欲しいなあと思います。聞いていました。ほうが議会を

見学したのは1時間くらいでしたが、まだまだ話し合いは続いていくようでした。

議会では、ほくたちの暮らしに関わることを、長い時間をかけて話し合っていることが分かりました。普段なら見る機会のない議会を見学することができ、とてもいい体験ができたなあと思いました。



羽床小学校 6年
ほそい 細井 鎮柳さん

綾川町役場に行つて町議会を見学しました。一番上に座つていた議長さんの「定例会議を始めます。」という声で議会は始まりました。議場はシーンとしていて、とても緊張感がありました。しばらくして一般質問が始まり、小学校の統廃合に

ついでの話し合いになりました。質問をする側の人、人も答える側の人、何も見ずに自分の考えを言っていました。また、議論をする時に、具体的な数字や例をあげて自分の意見を言っていたので、いろいろ調べて説明をしているのだなあとと思いました。

机の上にはたくさん
資料も用意していたので
しっかり考えて議会は行
われているのだなと思
いました。

しかし、こんな大切な話をしているのにもかかわらず、傍聴している人が少なかつたのが意外でした。議会では、ほとんどの住んでいる町のことについて話し合いが行われているので、もう少し大人の人が議会に関心を持つて欲しいと思いました。

今回の傍聴は、羽床
小学校6年生（8人）
を含む、17人
でした。

[illegible]

議 会 誌



編集後記

読者の皆さん明けましておめでとございます。

去年は「政権交代」があり、世の中が大きく変化しています。国の22年度の予算(案)も決まり、「コンクリートから人へ」変わろうとしています。私たちの生活にはまだまだ先が見えてこないのが実感ではないでしょうか。

町の予算編成も今がピーク、限られた財源を効果的に活用、町民の安心安全のためにメリハリのきいた予算に期待したいものです。

皆さんにとって今年が
よい年でありますように。

議会広報編集委員会

委員長 石井和義	委員 長尾進	委員 造田節夫	委員 中西一幸	副委員長 安藤利光	委員長 松浦正昭
-------------	-----------	------------	------------	--------------	-------------